

吉川慎之介君の悲劇を二度と起こさないための 学校安全管理と再発防止を考える会

第二回 勉強会

H26年4月27日(日)13時半～

東京国際フォーラム G504会議室

1. 今日の勉強会について吉川挨拶
2. 出席者の皆様自己紹介
3. 愛媛県西条聖マリア幼稚園園児溺死傷事件進捗 (畑中先生)
4. 神奈川県大和市西山学園やまと幼稚園プール溺死事件進捗 (伊礼様)
5. 浜名湖カッターボート転覆事故 ご遺族の西野様より
<http://always-kana.jimdo.com/> 勉強会に向けて、レポートいただいておりますので吉川より発表させていただきます。
6. 山中先生 (傷害予防のための包括的アプローチについて)
7. 内田先生 (スポーツ振興センター事故情報分析について)
8. 掛札先生 (リスク・コミュニケーション実例について)
9. 私学法改正について (吉川豊)
10. ディスカッション
11. まとめと終わりの挨拶



ご挨拶

第二回勉強会にご参加くださりまして、ありがとうございます。

2013年12月7日の第一回勉強会では、神奈川県大和市私立やまと幼稚園プール園児溺死事件と、愛媛県西条市私立西条聖マリア幼稚園園児溺死傷事件について情報共有させていただいた上で、民事裁判の仕組みや水の中での活動に関する専門知識、リスクコミュニケーションについて参加者の皆様と学び議論をしました。

2013. 12. 7 勉強会

【民事裁判について】

- 日本の場合、被告側に有利なシステムになっている。
- 世間一般的に裁判のシステムが理解されていないので、損害賠償額だけが独り歩きし、本質が伝わらない。
- 訴訟に対し偏見を持たれてしまう風潮が日本にはある。
- 損害を金銭に換算し埋め合わせをするというのが民事裁判なので、被告側が賠償金を支払ってしまえば真実の追及を求めても、何もわからないまま終わってしまう事もある。
- 事件事故を風化させない手段となっている。

【水に対する問題意識の低さについて】

- 文科省、厚労省、学校・幼稚園・保育園に対して夏前に水遊びに関する指導などを行っていない。
- 報道内容の在り方「毎年起きていることだから」という印象だけが強く、水に対する危険が人の意識に残らない

【リスク・コミュニケーションの重要性】

- 社会がリスクを認知していない・リスクの捉え方、対策の取り方、リスクそのものの理解がない。
- めったに起きない事象に慣れていく＝リスクが薄れていく。
- 幼稚園・保育園・学校の中で「大丈夫感」ばかりが育っていく。
- 「大丈夫だったのに事故事件が起きてしまった。」→だから「不運」「残念」と特別化していく文化が根強い。

※確率的にどこにでも起きりうるという事を理解し、リスクと対策を誠実に伝えること
(保護者も理解を共有することで抑止力になる(社会全体で共有することが必要))

※「自分にも起こるかもしれない」→「でも、この対策で守れる」となるシステム作りが必要

今回は、具体的なシステムについて、事故情報を収集しているスポーツ振興センターの在り方についても現在の状況に対する理解を深め、議論を展開していきたいと考えております。
今回も、皆様から学ばせていただきたいと思います。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

H26年4月27日 吉川豊・優子

第一回勉強会 ディスカッションから

1. 一つの事故から学びきることをしない→原因究明、事故検証機関などが何処にもない。
2. 子供の事故検証、死因検証などを支援する人・組織が存在しない
3. 事故調査は再発防止のために行われるのは当然だが、遺族や被害者が原因を知ることによって事故事件との向き合い方も変わってくる
4. 幼稚園・保育園・学校では、スポーツ振興センターの災害給付金システムにより事故事件を引き起こしても、簡単な事務 手続きだけでお見舞金が支払われることで、当事者たちが原因究明し反省をする機会を奪ってしまっているのではないか。
5. 企業では事故を起こすことは大きなコストになることから、リスク管理を徹底しているが、学校や幼稚園・保育園では「コスト」にならない現状がある。
6. 事故を引き起こしても、通常通りの運営が許されている。
7. 蘇生技術の研修など教員育成教育に組み込む
8. 保育士・教諭のスキル向上のための仕組みづくりは必要
9. 保護者会、父母会、PTAなどに事故情報などを提案していく
10. 第三者機関による評価システムがあれば、保護者は選択する基準ができるし、幼稚園・保育園・学校側も安全に対する意識が高まるのではないか。
(保育園(東京都)では評価システムが存在しているが有効な活用ができていない)
11. 地域が事故事件と向き合えない、受け止めない風潮がある要因として考えられるのは、学校事故が起きた場合、第三者機関の関わりが無く、責任追及も遺族・被害者が働きかけをしなければならぬ現状の中で「遺族・被害者vs幼稚園・保育園・学校組織」という構図だけが際立ち、他人事感が増長してしまうのではないか。
12. 様々な分野の有識者の方達との意見交換・情報収集をすることは大切。

第二回勉強会参加者の皆様

山中龍宏先生

産業技術総合研究所 デジタルヒューマン工学研究センター
傷害予防工学研究チーム <http://www.cipec.jp/>
キッズデザインの輪 <http://www.kd-wa-meti.com>
子どもたちを事故から守る <http://cipec.jp/document/index.html/>

掛札逸美先生

特定非営利活動法人（NPO法人）保育の安全研究・教育センター
保育現場における子どもの安全、
リスク・コミュニケーション、子どもの傷害予防
<http://daycaresafety.org/>

内田良先生

名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授
学校リスク研究所 <http://www.dadala.net/>

武田さち子様

NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事
<http://npo-ghp.or.jp/>
日本のこどもたち
<http://www.jca.apc.org/praca/takeda/>

篠原宏明様 篠原真紀様

NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事
<http://npo-ghp.or.jp/>

森俊一様

ジャーナリスト
<http://shunichimori.blog130.fc2.com/>
兵庫県龍野高校テニス部事故を考えるウェブサイト

伊礼康弘様

神奈川県大和市西山学園やまと幼稚園
園児プール溺死事件 貴弘君のお父様

小林恵子様

全国柔道事故被害者の会
<http://judojiko.net/>

小山義夫様 藤井真希様

赤ちゃんの急死を考える会
<http://isa.sub.jp/>

猪熊弘子様

ジャーナリスト
東京都市大学人間科学部客員准教授

加藤順子様

ライター フォトグラファー

報道各社の皆様

畑中鐵丸先生 光野真澄先生

弁護士法人畑中鐵丸法律事務所
<http://www.tetsumaru.com/>

山崎敦子 大藤紀子 久保礼子

吉川豊 吉川優子

吉川慎之介君の悲劇を二度と起こさないための
学校安全管理と再発防止を考える会
<http://shinnosuke0720.net/>